

# 去りゆく彼に花束を

この広大な表現の海の中から「彼」を見つけ出したことを、私たちは誇らしく思う。「彼」を知るまでのわたしは空虚で、何をすることもできなかった。「彼」が私たちの人生に色を与えてくれたのだ。開催されるイベントに足繁く通い、そこで仲間たちと知り合った。今では毎日のように交流する仲だ。まだ知名度こそついてきていないが、さっさと「彼」ならどこまでいけると、私たちは信じている。

**ゲームを始める前に：**〔アспект生成質問〕と併せて、「彼」の人物像を設定してください。名前、性別、年齢、性格（あるいは芸風）などの項目は、あらかじめ決定しておくことでゲームを進行しやすくなります。

また、「彼」はアーティストをイメージして作成していますが、必ずしも歌手や俳優のような表現者である必要はありません。芸人、作家、webライター、インフルエンサー、Vtuberなど、表現者にはさまざまいます。自由な発想で「彼」の人となりを決めてください。

## 〔アспект生成質問〕

- **私たちの憧れ。**「彼」はどのような活動をしている人物ですか。世間の知名度はどの程度ですか？
- **切望するもの。**私たちが「彼」に一番望むことは何ですか？ それは「彼」自身が掲げる目標と一致していますか？
- 〔自由アспект〕。好きに決めてください。

## 〔共同体への質問〕

- 私たちが初めて出会った時、ひと目でお互いが同胞であるとわかるものはなんですか？ 物品に限らず、テーマカラー、服装や髪型、合言葉などなんでも構いません。
- 私たちが集まる場所、あるいは会場はどこですか？ また、それはどのくらいの頻度で開催されますか？
- 私たちがいつも行っている、特徴的な応援の方法はなんですか？
- 「彼」の魅力的な点を一つ挙げるとしたらどこですか？
- 私たちがけして行ってはならないことはなんですか？

## 名前

サツキ、イブキ、シン、ジョージ、るい、なる、みかん、うさはら、桜木、姉さん、箱ティッシュ、非金属、苗木

（「彼」の活動次第で方向性が大きく変わります。状況に則したものを使用してください。）

## 〔時代の移行〕

〔時代〕2へ移るにあたって〔展開〕を（黒い左欄か、赤い右欄か）選ぶ。以降は、選んだ方の〔展開〕が続く。

〔時代〕2へと移る。〔アイソレーション〕の終わりを予感させる出来事。それはあらゆる会話の中に潜んでおり、無視などできない。

「彼」が大きなメディアに取り上げられることになりました。インタビュー記事は多大な反響を呼び、「彼」は大衆にもその存在を知られるようになったのです。悲願が叶った反面、私たちのうち何名かは、これで「彼」が変わってしまわないかと一抹の不安を覚えます。それを口にするのは誰ですか？ 私たちは危惧したことに対し、何か行動を起こしますか？

「彼」の活動頻度が目に見えて落ちていきます。一時は連日のように開催していたイベントもめっきり少なくなり、一部では引退の噂が囁かれるようになりました。中には関係者との不和や、下世話な疑惑に言及するものもあります。これらの信じがたい内容を私たちは受け入れますか？ また、これを受けて「彼」の今後を案じる者はいますか？

〔時代〕3へと移る。予期されていたことが起きてしまう。

〔アイソレーション〕の終わりは近い。この定めからは逃れられない。

予感的中しました。「彼」の芸術性は今までと異なった方向に動き出しています。それは私たちの好きだったものとは似ても似つかないものであり、とても看過できません。それでも「彼」を信じ続けるのは誰ですか？ また、過去の「彼」にすぎりつくのは誰ですか？

ついに「彼」からの言及がありました。近いうち「彼」は活動を引退するそうです。「彼」は私たちに謝罪し、引退を決意した理由を説明します。引退の引き金となった要因は何ですか？ 私たちは「彼」の言葉をどのように受け止めますか？

〔遣されゆくもの〕へと移る。最後の瞬間、またはその結果。

彼の個性は今や私たちの好きだったものとはかけ離れています。かつての面影はどこにもなく、多くの仲間たちが「彼」の元を離れていきました。最後まで「彼」のもとに残るのは誰ですか？ また、共通の娯楽を失った今、「私たち」の間に残っているものはありますか？

最後の日です。私たちは「彼」のもとに集まりました。そこにいない者はいますか？ きっと私たちの前にはもう現れないであろう「彼」に、私たちはどのような思いを抱きますか？

えきまゆ

本文

鮎方高明

編集

荒磯

イラスト

エリむーと

タイトルロゴ

このバックドロップは、ロールプレイング・ゲーム『ダイアレクト』(Thorny Games)のアクセサリです。  
『ダイアレクト』について興味がある方は、[harrowhill.rdy.jp](http://harrowhill.rdy.jp)をご参照ください。

遊ぶにあたって、このバックドロップは自由にコピーしていただいて構いません。またクリエイティブ・コモンズ「表示-非営利-継承」ライセンス範囲内で自由にご利用いただけます。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/deed.ja>

This backdrop is copyright 2022 by Ekimayu, twitter id:mayugenium. The illustration is copyright 2022 by ARAISO, twitter id:ARA\_4X4. The logo is copyright 2022 by Elimut, twitter id:Emt\_mezzo. *Dialect* is copyright 2017 by Thorny Games, LLC. All rights are reserved. Japanese translation published by arrangement with Thorny Games Publication. © 2020 by Harrow Hill.

